

## 平成30年度吉田地区「地域づくり計画」策定委員会

No	役職名	氏名	団体名・職名等
1	会長	高橋正司	吉田コミュニティ運営協議会 会長
2	副会長	海野達兄	吉田コミュニティ運営協議会 副会長
3	副会長	衣川祐子	吉田コミュニティ運営協議会 副会長
4	委員	主藤敏寛	吉田コミュニティ運営協議会 常務理事(区長会吉田地区 代表)
5	委員	男澤雄一	吉田コミュニティ運営協議会 理事(区長会吉田地区 副代表)
6	委員	菅原健	吉田コミュニティ運営協議会 理事(区長会吉田地区 会計)
7	委員	鈴木敬一	吉田コミュニティ運営協議会 理事・登米市文化協会 会長
8	委員	伊藤啓基	吉田コミュニティ運営協議会 理事(行政区長)
9	委員	阿部一夫	吉田コミュニティ運営協議会 理事(行政区長)
10	委員	伊藤俊一	吉田コミュニティ運営協議会 理事(行政区長)
11	委員	伊藤昭一	水・いきもの保全隊 代表
12	委員	佐藤昌彦	水・いきもの保全隊 隊員
13	委員	渡邊信一	米山東小学校PTA 会長
14	委員	畑岡ハナ子	女性代表
15	委員	加藤志信	女性代表
16	支援チーム	佐藤幸広	市民活動プラザ マネージャー
17	支援チーム	氏家和寛	登米市企画政策課 移住・定住促進係 地域おこし協力隊
18	支援チーム	庄司美香	登米市市民協働課 市民活動支援係 主査
19	アドバイザー	高橋満	東北大学大学院 教育学研究科 教授
20	事務局	菅原直行	吉田公民館 館長
21	事務局	高橋和恵	吉田公民館 事務員(社会教育主事)
22	事務局	仙國祐介	吉田公民館 集落支援員

現在、策定委員会でご協力いただいている皆さんです。ご意見・ご要望がありましたら、お気軽にお声がけください。

## 平成30年度 吉田地区 「市民が創る地域のまちづくり計画」

### ◎会長あいさつ

地域の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

この度、登米市まちづくり基本条例に基づく「市民が創る地域のまちづくり計画」策定作業を進める上で、先般、実施致しました無作為によるアンケート調査には、大変ご多忙中のところ多数の貴重なご意見を賜り、心より感謝申し上げます。

今回のアンケートにより、まちづくり計画の見直しに大きな希望と期待、又、問題点を見出すことが出来ました。ありがとうございました。

尚、今回のアンケート作成・集計には策定委員会のアドバイザーとして東北大学教育学部高橋満教授にご指導、ご協力を頂き配布させて頂きました。

今後、今回の策定計画を基に吉田地区の皆様方にとって、より良い地域づくりを推進してまいります。



吉田コミュニティ運営協議会  
会長 高橋正司

### ◎吉田コミュニティ運営協議会の運営

登米市から受託しております指定管理業務（吉田公民館・吉田体育館・善王寺コミュニティセンター・平筒沼ふれあい公園管理棟（YOUYOU 館）、平筒沼周辺の環境整備事業（いこいの森見守り活動・水産庁水産多面的機能発揮対策事業）は、行政指導機関と連携を密に実施しており、今後も活動の継続、更新に努めます。

事業につきましては、吉田地区の伝統である吉田地区盆踊り大会・運動会・冬季に行なわれている世代間交流レクリエーション大会等、これらも多世代の参加を目標に推進してまいります。

長寿社会の現実をとらえた「行政区健康祭り」は、みなさんの深いご理解とご協力のもと、大きな成果を上げることが出来ました。

新元号時代に向かい、吉田地区を取り巻く地域課題に、迅速に対応するため、皆様のご協力のもと、組織体制の充実を目指してまいります。

結びに、皆様の益々のご健勝と、ご多幸を祈念申しあげ、あいさつとさせていただきます。

### 吉田コミュニティ運営協議会 登米市吉田公民館

住 所：登米市米山町字桜岡江浪 41  
電 話：0220-55-2124 FAX：0220-55-4528  
メール：yoshicom@ia8.itkeeper.ne.jp

吉田地区まちづくりの長期目標

人の和 花の輪 地域の話 みんなでつながる 吉田の◎

～①自然・食など地元の素材を最大限に活かし、②住民同士のつながり、交流を広げ、③生き生きとした心豊かに暮らすことのできるまち～



吉田地区の 強み・弱み	取り組みの柱	具体的な取り組み (○：実施しているもの、△：これから取り組むもの)	5年後の姿
<p>吉田地区は、自然が豊かで、地域への愛着も強い人たちが住みつづけています。住民間の信頼関係や絆も強く、まとまりのある地域です。</p>	<p><b>自然の豊かさを活かした活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平筒沼を中心とした楽しい活動による交流人口の増加</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○釣り大会の充実を図ります。(親子釣り大会等)</li> <li>○平筒沼、いこいの森を活用した企画をします。(歩け歩け大会継続と充実)</li> <li>○自然保護、保全活動を行います。(外来魚駆除、クリーンアップ作戦、野鳥観測会等)</li> </ul>	<p>四季を通して賑わいのある平筒沼。</p>
<p>しかし、少子高齢化が進んでいることも確かです。交通の便や日常的な買い物をめぐって、生活の利便性は良いとは言えません。</p>	<p><b>食・技・暮らしを楽しむ活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の特産物の発掘と有効活用</li> <li>・地域の暮らしの知恵を活かした活動</li> <li>・地域の伝統や資源を活かした交流の拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○伝統行事を継続して行います。(盆踊り大会、運動会)</li> <li>△四季に適う祭りの開催を企画します。(春 桜祭り・夏 焼肉祭り 秋 芋煮会 冬 漬け物サミット、カボチャ祭り等)</li> </ul> 	<p>地元の特産品の活用と、伝統を大切にできる地域。</p>
<p>地域づくりの課題として、地区内の住民の自主的な活動を支援するとともに、地区内外の人・機関とも連携する必要があります。</p>	<p><b>介護予防の活動・生き生き健康づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉と連携</li> <li>・スポーツや学習活動の推進</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○行政区健康まつり事業を推進します。</li> <li>△社会福祉協議会と連携します。(介護講習会等)</li> <li>△各種団体の自主的な活動の支援を行います。(スポーツサークル等)</li> </ul>	<p>家族みんなで健康作りに取り組み、いつまでも元気に暮らせる地域。</p>
<p>また、平筒沼を中心とした自然を活かし、交流人口の増加や世代間の交流を図り、住民自らも楽しむ機会をもち、相互の支えあいの力をより高めることが重要となります。</p>	<p><b>世代間交流を活性化させるための活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の知恵の継承</li> <li>・子ども、若者の発想や活動力を発揮する場、環境づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校と連携し平筒沼の「環境学習会」を行います。</li> <li>△学校支援活動に積極的に参加します。</li> <li>△子どもや若者の活動と参加の機会を増やします。(親子スポーツ大会等)</li> </ul>	<p>世代間で話題を共有できる地域。</p>
	<p><b>住民が情報を共有するための活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信の強化 (地区のイベントや地域づくりの活動と成果)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>△ホームページで情報発信を増やすと共に地域住民が身近に感じるような記事を作り、掲載します。</li> <li>○ニュースレターを発行します。</li> <li>△“平筒沼”の周知を図ります。</li> </ul>	<p>地元の情報が飛び交う地域。</p>